

# Energy NEXT

ニュースレター

## コーディネーターの 交代と抱負

**2**015年9月、朝日 透教授(先進理工学専攻 主任)が本プログラム2代目のコーディネーターに就任しました。

「2012年10月にスタートして以来、5年一貫制博士課程・先進理工学専攻の新設と、当該専攻にて行うカリキュラムの設計・整備・改善に邁進してきました。修士号を付与しない本専攻において学生にとって中間の関門となるQualifying Examination制度や、産業界・官界からも積極的に教員や講師を迎えて、エネルギーの理工学に関する多様な情報・知識・考え方に触れられる機会を用意してきました。講義形式の科目に加え、エネルギー現場実習や海外研究機関実習(3ヶ月)、企業インターンシップ(3ヶ月)などの実践的な科目、さらには、JX社長あるいはエネルギーに詳しい政治家との懇談の機会などもありますし、企業役員級のボード

朝日透教授



メンバーに研究計画をプレゼンして方針に助言を授かるアドバイザーボードによる審査なども特徴的かつ学生からの評判も良い取り組みだと思えます。

挑戦的なカリキュラムの構築・運営を経て4年目を迎えるにあたり、地ならしは終えたのではないかと考えています。そして来年度、いよいよ最初の学位取得者が社会に飛び出していくことになります。これまでに実施してきたエネルギーの理工学という学問分野の教育の成果が社会に試されるときだと感じています。従来の博士後期課程に進学しては決して得られなかった機会を多く提供してきた自負を持っていますし、学生達も機会を活用して、成長を遂げています。また、一流学術誌への論文掲載や国際会議での発表や表彰、国際科学技術コンペ等での受賞など、高い専門性を裏付ける成果も出ています。今後は、これまでの活動で得られた実績を見直し、より効果の高い教育や学生自身が求めているカリキュラムの導入検討、企業等と育成したリーディング生との出会いの場のさらなる創出などに取り組んで参りたいと思います。

意欲ある学生の参加を歓迎するとともに、社会の皆さまからのご助力をお願いする次第です。」